

船舶事故調査報告書

平成29年12月20日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	転覆
発生日時	平成29年3月31日 10時10分ごろ
発生場所	広島県広島港第3区 広島はつかいち大橋橋梁灯（C1灯）から真方位160°80m付近 （概位 北緯34°21.2′ 東経132°21.4′）
事故の概要	台船スパット1号は、引船日吉丸にえい航されて東北東進中、転覆した。
事故調査の経過	平成29年4月24日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 引船 日吉丸、8.5トン 270-45055 広島、有限会社能美ジオックス（A社） B 台船 スパット1号、約24トン なし、A社
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	A なし B スパット1本に曲損、スパット昇降用油圧ポンプに濡損
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北東、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の末期
事故の経過	A船は、船長が1人で乗り組み、ボーリング調査を終え、広島港第3区五日市岸壁に向けて、機材等を積載し、作業員4人を乗せたB船のえい航を開始した。 B船は、広島港第3区を約1ノットの対地速力で、A船にえい航されて東北東進中、右舷側に傾斜し始めた後、転覆した。 船長は、A社を経由して海上保安庁に本事故の発生を通報した。
分析	B船は、広島港第3区において、A船にえい航されて東北東進中、転覆したものと考えられるが、船長から十分な情報が得られなかったため、転覆に至った状況を明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、広島港第3区において、B船が、A船にえい航されて東北東進中、転覆したものと考えられる。